

問題読解テクニック

知らないことが出題されたとき、諦める以外の方法はないものか…。

そこで、「1つのテーマに関する5つの記述から、適切なものを選ぶ」パターンを例に、仲間外れの選択肢を見つける方法を参考までに…☺✦

一番重要なのは、問題文と選択肢の文章を読み下す（自分が理解しやすい言葉に読み替える）こと！
問題を解くときには、このことを意識して取り組みましょう📖（そうすればそのうち出来るようになる！）

〔例〕 第24回_問題30（現代社会と福祉）

問題文：「人々の生活の豊かさを測定する…」

⇒☺（“豊かさとは何か”ということがテーマなのかな…？）

選択肢1：「1960年代の日本では、『真の豊かさ』を測定することを目指して…」

⇒☺（1960年代は高度経済成長期…。豊かさの象徴はお金のだったのでは？）

☹（『真の豊かさ』…お金では手に入らない心の豊かさ的なことか？）

💡「高度経済成長（豊かさの象徴＝金）と『真の豊かさ』（豊かさの象徴＝心）は一致しないから×☹」

選択肢2：「ブータンの国民総幸福量は、国内総生産を成長させるために…」

⇒☺（ブータンって幸福度世界一やったような…。でもよくある首脳会議とかでは名前聞いたことないし、経済大国じゃないんやろうな…。）

☹（あ、もしかしたら“経済的には豊かじゃないのに幸福度世界一”ってことで話題になってたのかな…？）

💡「“経済的に豊かでなくても幸福だ”ってことを大事にしている国が、国内総生産を成長させる（つまりお金持ちになる）のに必要なものを求める…矛盾してるから×☹」

選択肢3：「…日本が幸福度ランキングの首位」

⇒☹（いや、それはない☹）

選択肢4：「…人間開発指数…センの潜在能力アプローチ…（注）持続可能な開発ソリューション…」

⇒☹（・・・？）

選択肢5：「内閣府による『満足度・生活の質を表す指標群』…経済的指標のウエイトが大きい」

⇒☺（経済的指標のウエイトが大きい…つまり、金銭的な豊かさを重視するってことか）

☹（ここまでの流れ的に、多分この問題は「ここ最近の世界では、お金以外の尺度で豊かさや幸福を数値化しようとしてるよ」ってことがテーマやな）

💡「経済的指標を重視するのはこの問題のテーマにそぐわないので×☹」

結果、消去法で「4」